



○生徒○

1 生徒の実態（アドミッション）

- ・義務教育段階の基本的な学力が身に付かないまま入学してくる生徒が多い
- ・コミュニケーション能力が身に付いていない生徒が多い
- ・自尊心が低く、指示待ち、受け身な生徒が多い

2 育てたい生徒の姿（ポリシー）

- ・地域や社会に貢献できる力を持った生徒
- ・基礎・基本の定着を図り、課題解決に向けて粘り強く取り組む生徒
- ・自己実現を目指し、在り方生き方を自ら考え、努力・行動する生徒

基本方針

「地域の地域による地域のため」の学校

～地域を知り 地域を学び 地域を創る～

★地域資源（ひと・もの・こと）を
最大限活用した教育活動の推進

★「伝統の継承」と「学びの前進」
業務見直し 質
授業改善 発展

○学校○

1 学校の実態（ミッション）

- ・連携型中高一貫教育校を支える連携中学校からの入学率と総入学者数の確保が課題
- ・地域の学校として、地元自治体にとっては重要な存在との位置付けとなっている
- ・地域唯一の高校として、新たな連携内容の検討・実施が必要

2 目指す学校像（ビジョン）

- ・自己の目標や夢の実現に向けて挑戦し続けるたくましい生徒を育てる学校
- ・生徒一人一人を生かし、個性の伸長を図ることのできる学校
- ・地域の未来を切り拓く人材を育成し、地域から期待される魅力ある学校

●教育目標を達成する体制●

1 分掌業務等の平準化・効率化

- ・主担当者に声を掛け合いながら「チーム上川」としてサポートする

2 全員が学級担任の意識を持つ

- ・生徒や保護者の窓口は学級担任であるが生徒指導・学習指導を全職員でサポート

3 勤務時間を意識した働き方

- ・なくしても支障のない業務はやめる（スクラップ&ビルド）
- ・作成が目的化している書類を廃止する
- ・授業づくりと生徒理解に集中できる時間を確保する

◆育てたい生徒の姿に向かう手だて◆

1 「学びの保障」

日々の授業と進路実現
基礎学力の定着と非認知能力の育成
個別最適な学び（学習保障）

2 「地域連携」

上川町・関係機関・CSの連携
異校種間連携（こども園・小学校・中学校）
高大連携（上川サテライトの有効活用）

3 「生徒の成長を止めない」

規範意識の醸成とマナーの理解・モラル教育
丁寧な個別面談と情報共有
興味・関心を引き出す工夫

●目指す教職員の姿●

- ・生徒の良さや可能性を引き出し、伸ばすことができる教職員
- ・豊かな人間性ととともに、柔軟な発想や思考力を持つ教職員
- ・地域の一員としての教職員
- ・地域と協働し、人材の育成や課題解決に取り組む教職員
- ・職場を的確に把握し、意欲的に働ける環境づくりを進める管理職員

